

多古町学校教育ビジョン（案）意見募集  
御意見及び町の考え方

実施期間：令和6年6月14日（金）～令和6年7月5日（金）

意見数：1件（+匿名1件）

No.	御意見	町の考え方
1	○7 ページ 内閣も推進している「幼児教育」を念頭に、図が幼・小・中連携を真剣に検討したものになるとより良いのではと思います。	御指摘の図は、文部科学省の資料を掲載しています。
	○8 ページ 多古町の豊かな自然を活かした農業体験などが、現在問題になっている「体験格差」の問題を解決し、都会のトップ校と比較しても魅力につながると思うので全面に押し出しても良いのではないのでしょうか。	当該ページは、今後も地域との連携を図る取組を推進するため、コミュニティ・スクール制度を活用していくことを記載しています。
	○全体 こういった素晴らしいビジョンの実現のためには、教員各々がビジョンを日々の業務レベル（講義内容や活動実施）にまで落とし込む方法を考える時間が必要となります。そのためには、幼・小・中の教員の大幅な業務負担の削減、言い換えると例えばコーヒーを飲みながら講義内容や活動実施に思いを巡らせ、場合によっては試行錯誤するような時間の確保、が欠かせません。ビジョンの実現方法にあたる、教員の負担軽減がビジョンの段階でしっかりと盛り込まれていないと、結局ただでさえ忙しい現場の教員にとっては単なる負担の増加であり、8 ページにあるような仕組みもワークせず、この素晴らしいビジョンも「机上の空論」と化してしまうのではという点が心配です。	教職員の負担軽減に向けては、各学校において行事の精選や業務の効率化に取り組んでいるところです。 また、町として教育支援員 31 名を雇用し、各学校に配置することで、教職員の業務を支援するとともに、中学校には部活動支援員を配置するなど、教職員の負担軽減を図っています。 よって、教職員が心身ともに健康を保つことで、効果的な教育活動を持続的に行うことができるよう、教育大綱・教育振興基本計画の9 ページ2 (3) ①に、働き方改革の推進について追記しました。

※なお、匿名の方から1件、住環境整備や公共交通への御意見がありました。